

「小さな自然再生事例集Ⅱ(仮称)」掲載

「取組事例」を募集します

(9月20日(金) 応募〆切)

2019年9月 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)では、市民が行政と連携して日曜大工的に取組む「小さな自然再生」に関わる事例集を、2014年度に有志メンバーとともに制作・発行しました。

その後も小さな自然再生に関わる取組みが全国に広がる中、今年度は、この事例集の続編として、新規の事例を盛り込んだ「小さな自然再生事例集Ⅱ(仮称)」を現在制作中です。

そこで、事例集Ⅱで紹介させて頂く『取組事例』を募集致します。小さな自然再生に実践的に関わってこられた全国の皆さまから、活動の目的や歩み、施工や維持管理の工夫や効果などの生の情報をお寄せ頂ければ幸いです。下記募集要項をご確認の上、ご応募お待ちしております。

＜実施体制＞

- 編集・制作：「小さな自然再生」研究会
 - 各事例執筆：全国の小さな自然再生の担い手の皆さま
 - 発行／制作事務局：日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)
- ※2020年2月頃に発行予定

【募集内容】

事例集で紹介する水辺の小さな自然再生に関わる取組事例(兼：執筆者[※])を募集します。

※裏面の事例テンプレート(A3サイズ・2ページ)で事例情報を紹介頂きます。

- 事例執筆サンプル→ <http://www.a-rr.net/jp/info/docs/collaboriver201909sample.pdf>
- 事例集編集イメージ→ <http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/files/2015/03/JRRNcollaboriver2015case05.pdf>

【応募方法】氏名、所属、連絡先(住所・電話・e-mail)とともに、下記申込先までEメールにてご応募下さい。折り返し、掲載内容等を事務局より調整させて頂き、取組事例をご記入頂くための“取組事例テンプレート”様式(ワードファイル)をお送りします。

【応募期間】2019年9月20日(金)まで

【備考】謝金等の支給はありません。発行後に事例集5部を謹呈します。

【応募申込み・お問い合わせ】

(応募申込み先) E-mail: info@a-rr.net

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)事務局 担当：澤田みつ子・和田彰
〒104-0033 東京都中央区新川1-17-24 NMF 茅場町ビル7F (公財)リバーフロント研究所内
Tel: 03-6228-3865 E-mail: info@a-rr.net Website: <http://www.a-rr.net/jp/>



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

■タイトル (キャッチコピー) ※空欄でも構いません。事務局で提案可能。

25文字以内(3秒で読める長さ)で、読者を引き付けるタイトルを付けて下さい。なお、論文や報告書のタイトル(「・・・工法」「・・・事業」)ではなく、新聞広告のコピー(見出し)などを参考に考案してみてください。

■代表的な1枚の写真

- ・活動を象徴する、特に紹介したい**代表的な写真1枚**を提供下さい。冒頭で大きく掲載します。
- ・選定された1枚の写真(画像)は、本原稿ファイルとともにメールで送付して下さい。

■リード文 (簡潔で魅力的な紹介文: 100文字程度)

100文字程度で取組みの概要を、このリード文を読むだけで何に取組んだかがわかるように、また読者が「面白そう」「読んでみよう」と感じてくれるような言葉を用いてご紹介下さい。なお、「です」、「ます」調で作成願います。

①基本的な情報(プロフィール)

- ・河川名: ○○川水系○○川
- ・場所: ○○県○○市
- ・執筆者: 氏名

②経緯・目的

●活動の流れ(フロー図)と関連させて

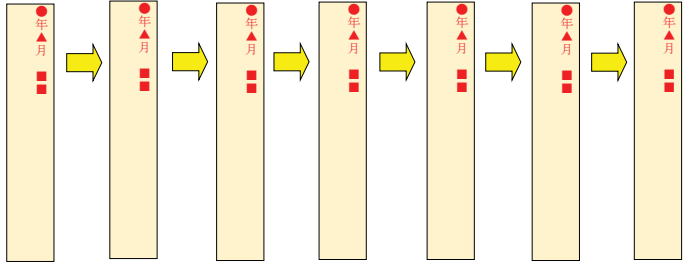
右ページ上の「活動の流れ(フロー図)」と関連させて、活動のきっかけ、これまでの経緯、目的等を分かりやすく紹介して下さい。

●「小見出し」と「概要文章」の簡潔書きで

キャッチーな小見出しを付けた後、紹介頂く内容を簡潔に記述して下さい。なお、小見出しは事務局で考えることも可能ですので、その場合は「小見出し」なしで簡潔書きで記載頂いて結構です。

■活動のながれ(フロー図)

企画段階(構想、きっかけ)から現在までの出来事をフローチャートで整理してください。見易さを考慮し5～8段階ぐらいに整理してください。



■経緯・目的(または上記フロー図)を補足する写真数枚

経緯や上記フローを補足する写真数枚(2～4枚)とキャプションを以下に貼り付けてください。

<p>例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ■検討会等の写真 ■施工前・施工中・施工直後・施工後写真等 	<p>例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ■検討会等の写真 ■施工前・施工中・施工直後・施工後写真等 	<p>例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ■検討会等の写真 ■施工前・施工中・施工直後・施工後写真等
キャプション	キャプション	キャプション

③実施体制・スキーム

・どのような得意技を持った人・組織、どんな立場の人がどのような役割を果たしたかを図で表現して右に貼り付けて下さい。

・組織(NPO、市民、専門家、行政、大学、小学校等)と役割(設計、施工、維持管理)を描き、それらの関係を線で結んで示していただけると有難いです。

■実施体制・スキーム図

④工法の説明・工夫した点

●土木的な工夫、生態学的な工夫等

土木的な工夫(設計、構造、施工)や生態学的な工夫(対象生物、どのような効果を期待して)を紹介して下さい。

●関連する写真や絵図

写真(現場作業の様子、対象生物の写真等)や図(関係者で作成・共有したポテンチ絵等)を掲載願います。

例えば

- 現場作業の様子等
- 土木的工夫のイメージ図等
- 対象生物の写真等
- その他、工夫や課題が分かる写真や図等

キャプション

例えば

- 現場作業の様子等
- 土木的工夫のイメージ図等
- 対象生物の写真等
- その他、工夫や課題が分かる写真や図等

キャプション

⑤使用材料・工具・造り方

- ・使用材料や工事で用いた工具を写真と共に紹介して下さい。
- ・使用材料の調達方法の工夫(ホームセンターで購入可能、河川工事で余った資材を活用等々)があればご紹介ください。
- ・造り方が分かる写真(工事の手順等)や図面(平面図、横断面、縦断面図等)があれば掲載願います。

例えば

- 使用材料が分かる写真
- 使用工具が分かる写真
- 造り方が分かる図面等

キャプション

例えば

- 使用材料が分かる写真
- 使用工具が分かる写真
- 造り方が分かる図面等

キャプション

例えば

- 使用材料が分かる写真
- 使用工具が分かる写真
- 造り方が分かる図面等

キャプション

⑥施工後の維持管理や利活用の工夫

●完成後の維持管理面や利活用の工夫

維持管理の視点での工夫(労力軽減、地域参加促進 etc.)や、フィールドを利活用していく上での工夫(環境学習プログラム展開、安全看板設置 etc.)等を紹介して下さい。

●関連する写真や絵図

上記に関連する写真や図等を掲載願います。

例えば

- 現場作業の様子等
- 土木的工夫のイメージ図等
- 対象生物の写真等
- その他、工夫や課題が分かる写真や図等

キャプション

⑦現場のキーパーソン

- ・氏名: ○○○○さん
- ・所属等: ○○○○○○○○○○○○○○○○○

取り組みの中で、中心的な、あるいはポイントとなる場面で力を発揮した人をあげてください。(一人でも複数でOK。執筆者ご自身でももちろんOK。)その方の「独自の視点」「すごい技」「こだわりの道具」など、魅力や面白さも含めてご紹介下さい。

キーパーソンの写真

⑧効果(一次効果・二次効果)

- 再生目標に対しての直接効果(一次効果)や、地域へのインパクト、技術の向上、関係者の連携強化等々の波及的な効果(二次効果)を紹介して下さい。
- 効果の分かる写真や図等があれば掲載願います。

■効果の分かる写真、図表等

キャプション

■効果の分かる写真、図表等

キャプション